

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 220-8755
 住 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい6-3-6
 氏 名 オーケー株式会社
 代表取締役社長 二宮 涼太郎 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	オーケー株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区中瀬3-20-20		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食品小売業
主たる事業 の内容	主に食料品を販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,025 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

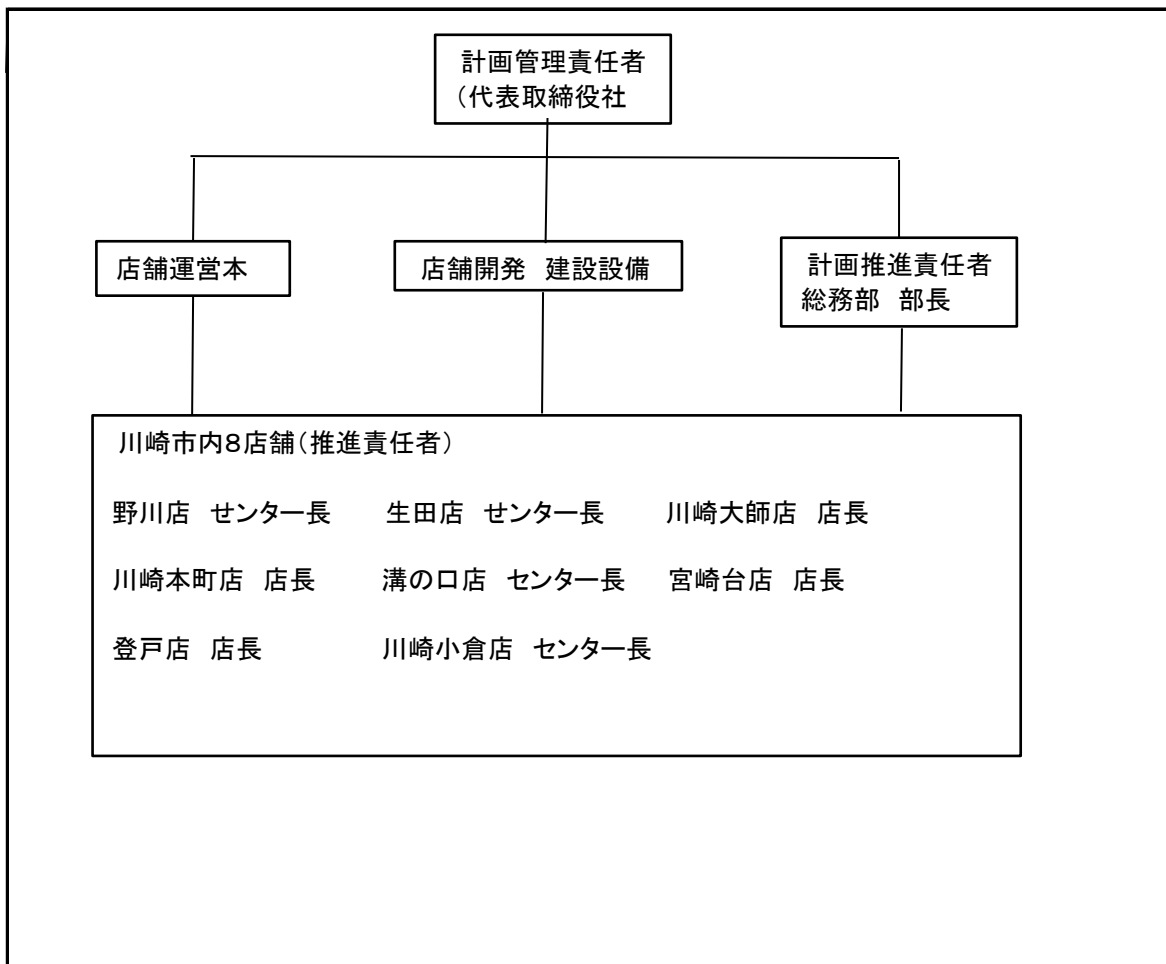
オーケーの経営方針、「高品質・Every Low Price」に基づき、地球環境に対しても地球にやさしい店舗経営を心がけ、CO2の排出削減に取り組んでおります。

(1) 店舗運営における、ゴミ排出の削減レジ袋の有償化によりCO2の削減を行う。
 (2) 使用電力の効率化を図り、無駄な電力消費を抑え、CO2の削減を行う。
 (3) 設備更新に当たっては、省エネ型への転換を図り、CO2の削減を行う。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

①川崎市内店舗の排出削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。
 ②設備の問題点を確認、エネルギー効率の悪いものについて、省エネ機器への更新を推進する。
 ③各店舗において積極的に節電を行い、無駄を省くようにする。
 以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2021				年度
目 標 年 度		2024				年度
基 準 排 出 量	(実)	5,344	(実)		(実)	
	(調)	5,295 t-CO ₂	(調)		t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	5,291	(実)		(実)	
	(調)	5,242 t-CO ₂	(調)		t-CO ₂	
削 減 量	(実)	53 t-CO ₂	(実)		t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	53 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	1.0 %	(実)		%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率			%		%

ウ 目標設定に関する説明

BAND(エネルギー自動制御システム)導入、パナソニック温度管理システムの導入、バックヤードの冷蔵庫のスウィングドアの設置、売場冷ケースのナイトカーテン設置等によるCO2排出量の削減効果はかなり大きく、川崎市内の対象店舗については上記全ての導入・設置が完了しており、エネルギー使用量並びにCO2排出量の大幅な削減は難しい為、1%削減を目標値として設定します、今後もこれらの運用を継続して行うことで省エネに努めます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①エネルギー自動制御システム (BANDS)、温度管理システムの導入。 ②契約電力500kwhの店舗については契約電力の引き下げの見直し並びにデマンドコントロールを実施。 ③冷ケースの設備調整 (5℃から8℃設定に変更、霜取り、防露ヒーターのコントロールを実施。 ④改装時省エネ機器への入れ替え実施。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

①照明のLED化 ②バックヤード冷蔵庫スウィングドアの設置 ③冷ケースナイトカーテンの設置。 全店舗実施済。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	未定の為、公表する事項はありません。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	未定の為、公表する事項はありません。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,344	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,025	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

8

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
溝の口店	川崎市高津区下作延1-6-7	976 t-CO ₂
川崎大師店	川崎市川崎区中瀬3-20-20	951 t-CO ₂
野川店	川崎市宮前区野川本町2-32-7	887 t-CO ₂
		t-CO ₂